

平成23年度

北海道において実施する農業農村整備事業等補助事業に関する技術検討会 議 事 概 要

1. 日 時 平成24年2月15日（水曜日）13時30分～16時15分

2. 場 所 農林水産省 農村振興局 第1会議室

3. 出席者 別添のとおり

4. 議事概要

(1) 検討会の運営等について

- ・ 技術検討会の委員長として、長澤徹明委員を選出。
- ・ 検討会配布資料については、公表とする。
- ・ 議事録については、発言者名を明記の上、公表とする。

(2) 農業農村整備事業等補助事業の事後評価結果（案）について

事務局より、配布資料に基づき農業農村整備事業等補助事業の事後評価の進め方、農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）について説明、質疑等を行った。

委員からは、評価の視点として次のような意見があった。

- ・ 担い手への農地集積の大きな要因として、事業実施によるほ場の大区画化、それに伴う換地による効果が考えられるので、この点についても積極的に評価されてはどうか。（経営体育成基盤整備事業）
- ・ 地区の今後の課題として、「自給飼料生産基盤に立脚した酪農経営の確立」といった事項を整理すべきではないか。（畑地帯総合整備事業）
- ・ 事業効果の発現状況を整理するに当たっては、生活環境だけではなく、自然環境の改善という視点での評価も必要ではないか。（地域用水環境整備事業）
- ・ 引き続き本事業で整備した施設等を活用し、家畜排せつ物の適正な管理を行っていくかという観点からの評価も必要ではないか。（畜産環境総合整備事業）
- ・ 事業効果の発現状況を確認するという観点では、受益者の実感が重要な要素であり、聞き取り調査結果等を記載していくことで、より評価内容が充実するのではないか。

(3) その他

事後評価地区別結果書に記載する「第三者の意見」については、委員長が（案）を作成し、各委員に諮り合議の上で取りまとめを行うこととする。

(別添)

北海道において実施する農業農村整備事業等
補助事業に関する技術検討会委員名簿

岡村 俊 邦

北海道工業大学 空間創造学部 教授

長澤 徹 明

北海道大学大学院 農学研究院 特任教授

中原 准 一

酪農学園大学 環境システム学部 教授

橋本 正 雄

北海道農業ジャーナリストの会 常任幹事
北海道農業会議 事務局長

波多野 隆 介

北海道大学大学院 農学研究院 教授

(五十音順、敬称略)